

新庁舎の機能を考える市民ワークショップ

かわら版

Vol 3

平成 27 年 8 月 発行

全 5 回の市民ワークショップも中盤にさしかかりました。

第 3 回では、「市民にやさしい庁舎を考えよう」をテーマに、庁舎を訪れる誰もが利用しやすい機能とはどういうものか、市民利用が多い総合受付・案内・待合スペースについて意見交換をしました。

当日は開会のあいさつとして、市長から新庁舎建設への思いをお話しし、その後のグループ討議はさらに活発なものとなりました。



◇第 3 回ワークショップ（産業文化センター 2 階第 3 会議室）
2015 年 8 月 22 日（土）13:00~15:00

1. 事例紹介

市民にやさしい庁舎について、総合案内の場所の事例・工夫がされている案内板の事例・ゆとりある待合スペースの事例・キッズコーナーや授乳室の事例などを、スライドを使って紹介しました。



2. グループ討議

第 3 回のテーマ 「市民にやさしい庁舎を考えよう！」

第 3 回のテーマから、①わかりやすい案内、②市民にやさしい窓口、③ゆとりある待合スペース、の 3 つのサブテーマにそって各班で意見交換をしました。

前回までの課題や提案を踏まえ、総合案内の位置や案内板のデザイン、わかりやすい案内のシステム、誰もが利用しやすい窓口、待合スペースに必要なもの、子ども連れに配慮したスペースなどについて、様々な意見や提案が出ました。



4. 発表

最後に班の代表者が、班の中で出た意見のまとめを発表しました。市民にやさしい庁舎にするにはどうしたらよいか、共通する意見も多くありましたが、各班で色々なアイデアも出てきました。全体的に共通することは、利用する人の立場になって機能を検討してほしい、ということでした。

第 4 回では、「市民に安心・安全な庁舎を考えよう」のテーマで、安心して安全に利用できる庁舎について検討します。



各班の主な意見を紹介します

- わかりやすい案内
- 市民にやさしい窓口
- ゆとりある待合スペース

1班

● 障がい者・車椅子利用者・高齢者など、誰にでも対応できる総合案内にしてほしい

● 総合案内は入口からひと目でわかる場所に配置
● 案内板は色分けされていると分かりやすい

● 窓口はワンストップ方式が理想的
● カウンターや椅子のデザインも、使う人の立場になって検討してほしい

● 市民利用が多い窓口は1～2階にまとめてあるとよい
● 窓口のプライバシー確保は必須

● 車いすやベビーカーでも通りやすい広さを確保してほしい

● 子ども連れにも配慮したキッズコーナーや、気軽に利用できる喫茶スペース、市の情報案内などがあるとよい

2班

● 移動が少なくすむような案内のシステムを検討
● 案内板など色や表示を工夫する

● 職員と市民が近くで話せるようなカウンター
● プライバシー確保のために仕切りをする

● 丸みを帯びた複数用の椅子やベンチなどの設置
● テレビなどで市の情報を流す

● 市の顔として、総合案内は見やすい位置できれいに！

● 色と番号と柄などを使用し分かりやすい窓口！
● 手荷物を置ける場所などがあるとよい

● 目に見えるところにキッズスペースを設ける
● 授乳室はフル整備がよい

3班

● 総合案内は中央に配置し、コンパクトでよい
● 光や音で案内ができるもの

● 色々なケースによってプライバシー対策を検討
● しっかりとプライバシーが確保できるスペースが必要

● 個別に待合スペースを設けず、繁忙期に柔軟に対応できるようにする

● 災害時の拠点にもなるようにエントランスを広くとる
● 40年後でも使えるような設備にする

● 機械と人手をうまく取り混ぜた窓口にする
(証明書発行専用は機械だけにするなど)

● 市民が親しみを持てる庁舎とする
● 軽くお茶が飲める場所やお店が入ってもよいのではないかと

■スケジュール■

第1回：7月25日（土）13:00～15:00「現庁舎について・新庁舎に期待すること」【終了】

第2回：8月3日（月）、8月7日（金）13:00～15:30 庁舎見学・課題整理【終了】

第3回：8月22日（土）13:00～15:00「市民にやさしい庁舎を考えよう」【終了】

第4回：9月5日（土）13:00～15:00「市民に安心・安全な庁舎を考えよう」

第5回：9月26日（土）13:00～15:00「これまでの意見のまとめを整理しよう」

※市民ワークショップは原則として公開にて行います。

お問合せ先

各務原市 企画総務部 管財課 庁舎等建設係

電話：058-383-1619（直通）